

温かい心の預言者(6)

「預言者の小部屋」

(山口 民雄 伝道師)

【聖書のみことば】 列王記第二 4章 8-17節

- 8 ある日、エリシャがシュネムを通りかかると、そこにひとりの裕福な女がいて、彼を食事に引き止めた。それから、そこを通りかかるたびごとに、そこに寄って、食事をするようになった。
- 9 女は夫に言った。「いつも私たちのところに立ち寄って行かれるあの方は、きっと神の聖なる方に違いありません。
- 10 ですから、屋上に壁のある小さな部屋を作り、あの方のために寝台と机といすと燭台とを置きましょう。あの方が私たちのところにおいでになるたびに、そこをお使いになれますから。」
- 11 ある日、エリシャはそこに来て、その屋上の部屋に入り、そこで横になった。
- 12 彼は若い者ゲハジに言った。「このシュネムの女を呼びなさい。」彼が呼ぶと、彼女は彼の前に立った。
- 13 エリシャはゲハジに言った。「彼女にこう伝えなさい。『ほんとうに、あなたはこのように、私たちのことでいっしょうけんめいほねおってくれたが、あなたのために何をしたらよいか。王か、それとも、将軍に、何か話してほしいことでもあるか。』」
彼女は答えた。「私は私の民の中で、しあわせに暮らしております。」
- 14 エリシャは言った。「では、彼女のために何をしたら良いだろうか。」ゲハジは言った。「彼女には子どもがなく、それに、彼女の夫も年をとっています。」
- 15 エリシャが、「彼女を呼んで来なさい」と言ったので、ゲハジが彼女を呼ぶと、彼女は入口のところに立った。
- 16 エリシャは言った。「来年の今ごろ、あなたは男の子を抱くようになるう。」彼女は言った。「いいえ。あなたさま。神の人よ。このはしために偽りを言わないでください。」
- 17 しかし、この女はみごもり、エリシャが彼女に告げたとおり、翌年のちょうどそのころ、男の子を産んだ。